

# 2024年3月期 第3四半期 決算説明資料

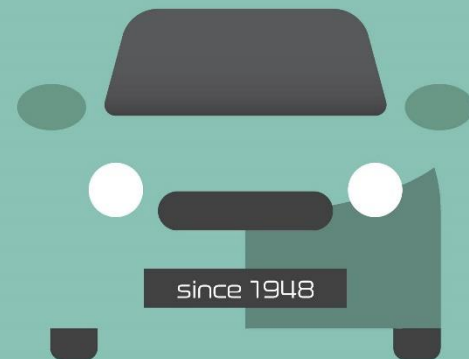


 **日本プラスト株式会社**

I. 2024年3月期第3四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

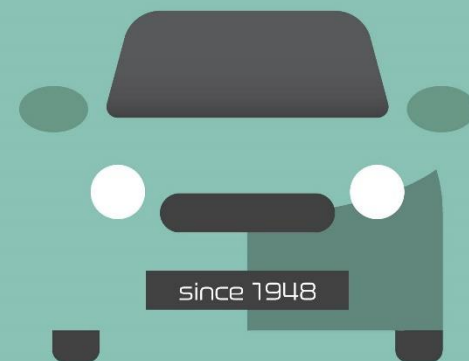
III. トピックス



## I. 2024年3月期第3四半期 決算報告

## II. 2024年3月期 通期見通し

## III. トピックス



# (1) 概要



(単位：百万円)

	2023年3月期 第3四半期		2024年3月期 第3四半期		対前年比	
					増減	伸率
売上高	75,476	100.0%	90,509	100.0%	15,033	19.9 %
売上原価	71,227	94.4%	81,421	90.0%	10,193	14.3 %
売上総利益	4,248	5.6%	9,088	10.0%	4,839	113.9 %
販売費及び一般管理費	5,838	7.7%	6,893	7.6%	1,054	18.1 %
営業利益又は 営業損失(△)	△ 1,590	△ 2.1%	2,194	2.4%	3,784	—
経常利益又は 経常損失(△)	△ 1,107	△ 1.5%	2,456	2.7%	3,563	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△)	△ 1,997	△ 2.6%	2,527	2.8%	4,525	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△ 104.45円		132.11円		—	—
1株当たり配当金	—		—		—	—
US \$ 換算レート	注1)	129.47円	注2)	139.55円	10.08円	—

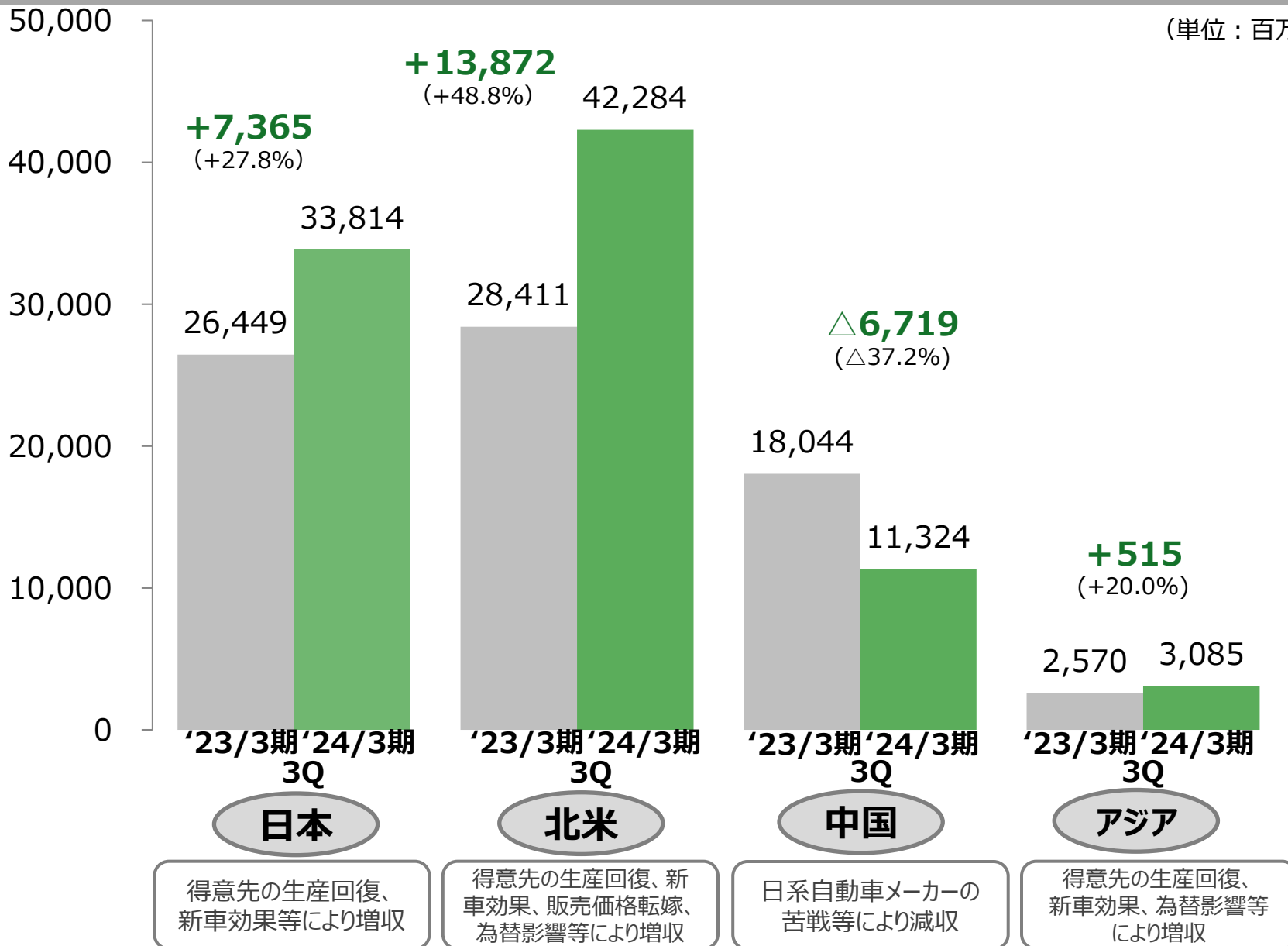
注2) 22年 1~9月平均レート

注2) 23年 1~9月平均レート

# (2) セグメント情報 <地域別売上>



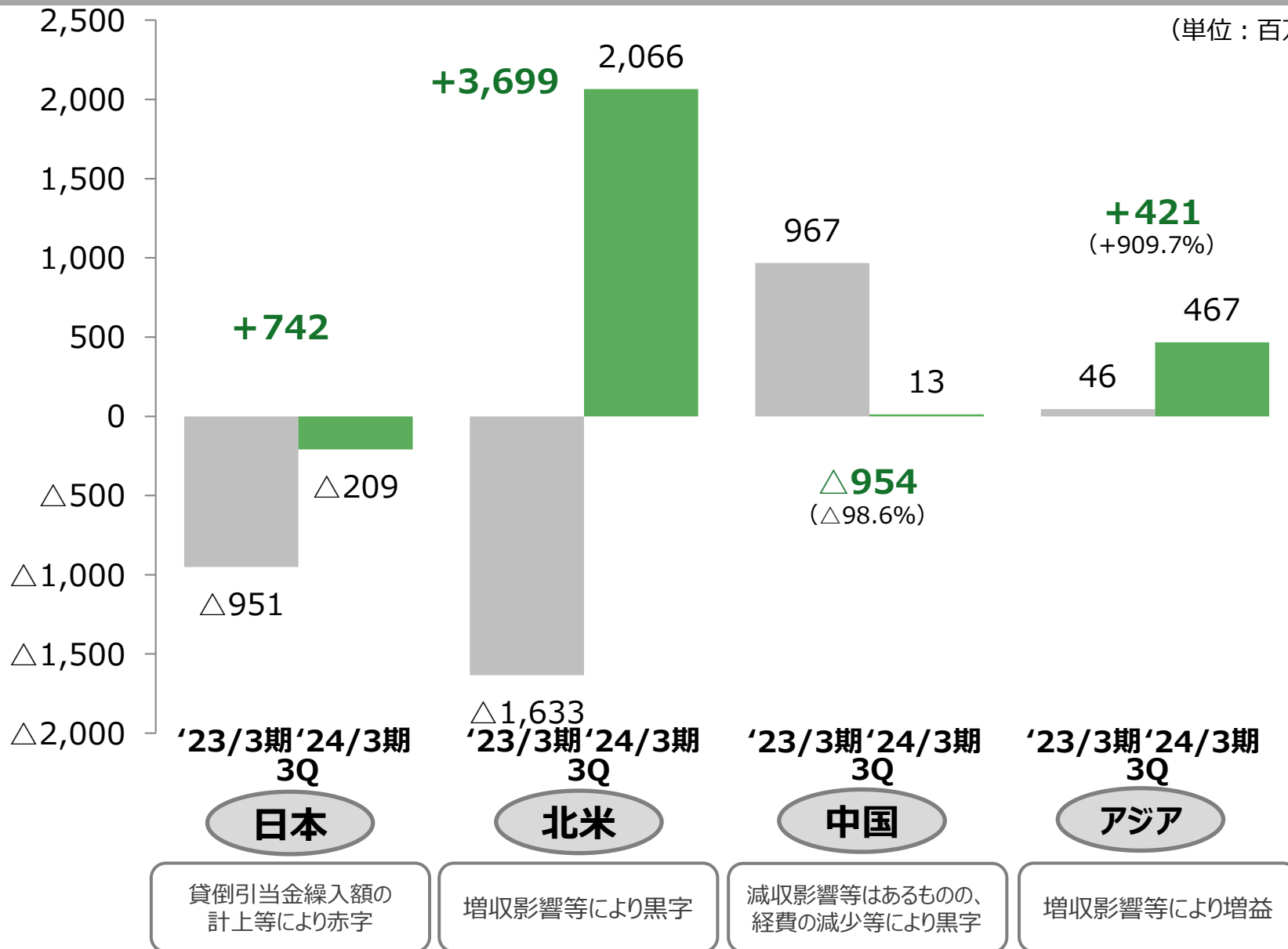
(単位：百万円)



# (2) セグメント情報 <地域別営業利益>



(単位：百万円)

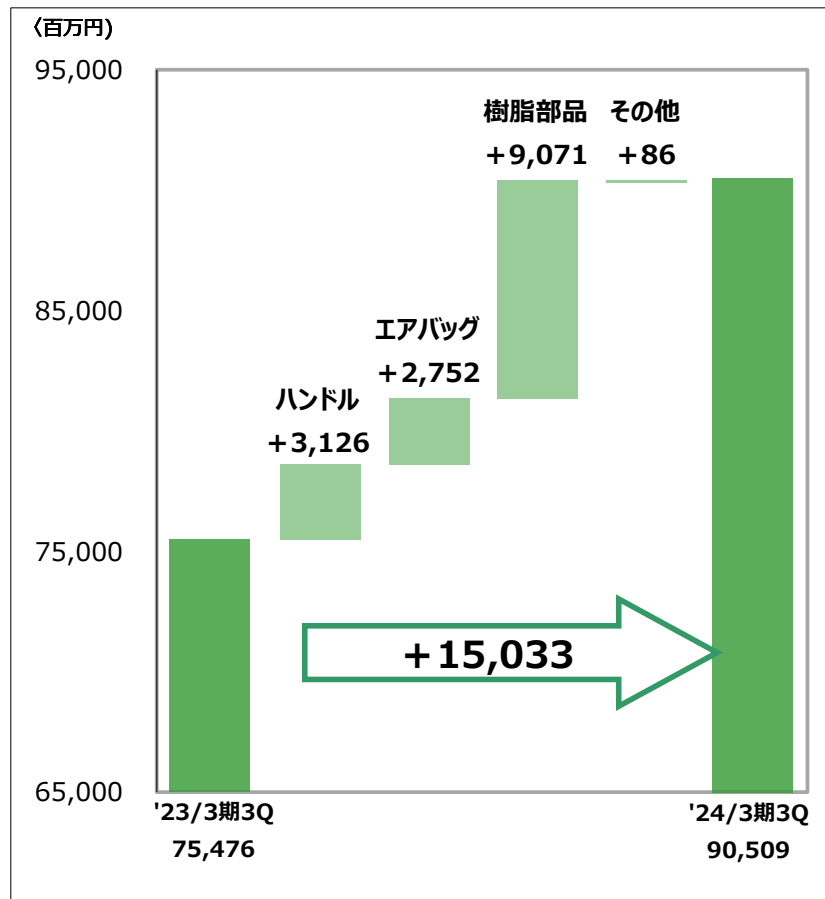


# (3) 製品別売上



(単位：百万円)

	'23/3期 3Q	'24/3期 3Q	対前年比	
			増減	伸率
			ハンドル	20,460 (27.1%)
エアバッグ	20,857 (27.6%)	23,609 (26.1%)	2,752	13.2%
樹脂部品	33,603 (44.5%)	42,674 (47.1%)	9,071	27.0%
その他	554 (0.7%)	640 (0.7%)	86	15.5%
連結売上高	75,476	90,509	15,033	19.9%



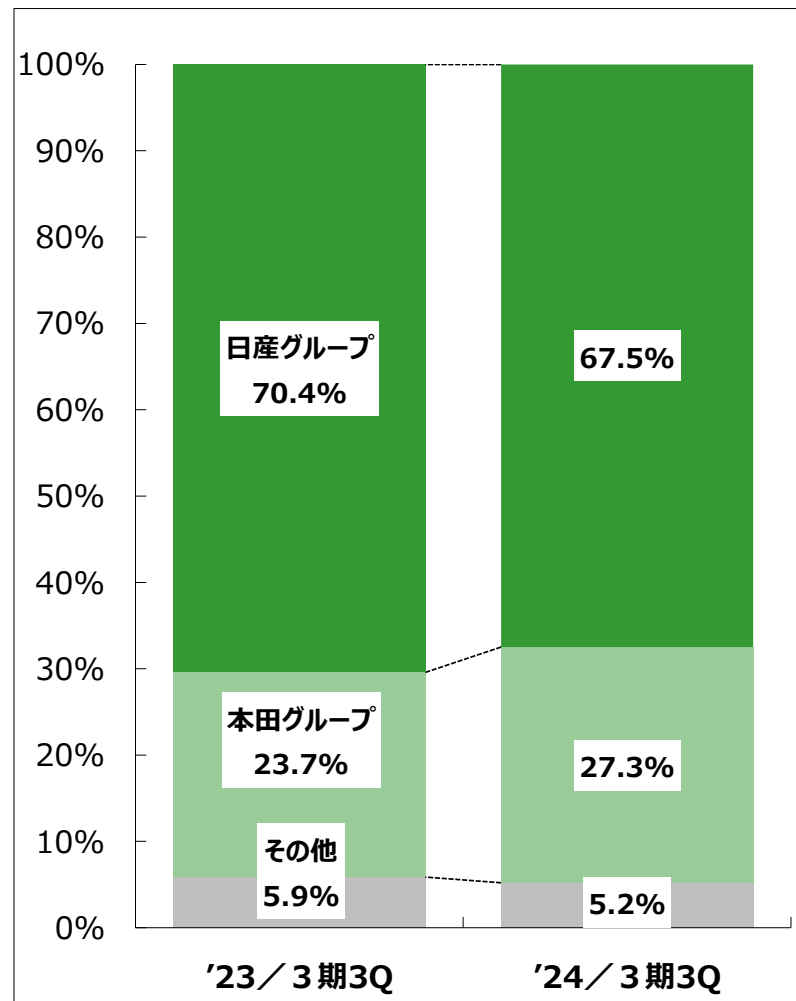
得意先の生産回復、新車効果、為替影響等により全製品で一様に増加

# (4) 得意先別売上



(単位：百万円)

	'23/3期 3Q	'24/3期 3Q	対前年比	
			増減	伸率
日産グループ	53,149 (70.4%)	61,063 (67.5%)	7,914	14.9%
本田グループ	17,891 (23.7%)	24,712 (27.3%)	6,821	38.1%
その他	4,434 (5.9%)	4,734 (5.2%)	300	6.8%
連結売上高	75,476	90,509	15,033	19.9%



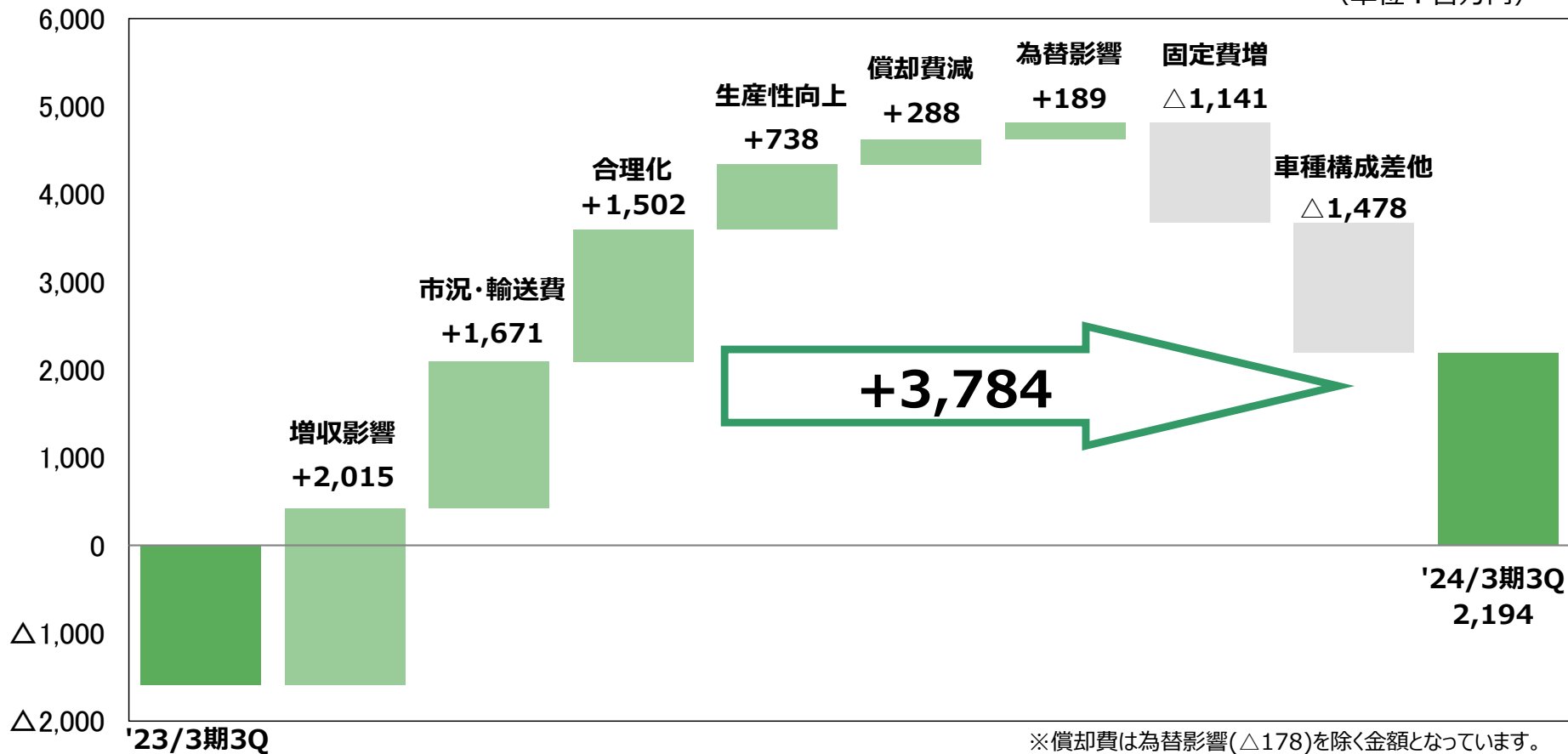
得意先の生産回復、新車効果、為替影響等により全得意先で一様に増加



# (5) 営業利益増減説明



(単位：百万円)



収益悪化要因は残存するものの、増収影響、市況・輸送費、合理化による収益改善、生産性向上等により黒字化

# (6) B/S主要増減



(単位：百万円)

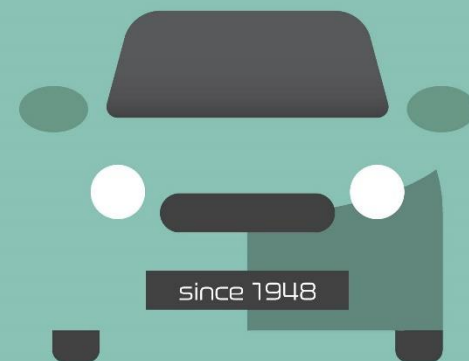
	'23/3末	'23/12末	前年度末比	主要増減要因
流動資産	46,038	47,679	1,640	・受取手形及び売掛金 +2,476 ・原材料及び貯蔵品 △ 935
固定資産	35,411	37,221	1,809	・投資有価証券 +697
資産合計	81,450	84,900	3,449	

	'23/3末	'23/12末	前年度末比	主要増減要因
流動負債	42,643	40,427	△ 2,216	・短期借入金 △ 4,128 ・支払手形及び買掛金 +1,815
固定負債	12,588	12,783	195	・繰延税金負債 +327 ・長期借入金 △ 115
純資産	26,219	31,689	5,470	・為替換算調整勘定 +2,569 ・利益剰余金 +2,284
自己資本比率	32.2%	37.3%	5.1 %	
負債、少数株主持分及び資本合計	81,450	84,900	3,449	

I. 2024年3月期第3四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

III. トピックス



# (1) 概要



(単位：百万円)

	2023年3月期		2024年3月期 連結業績予想		増減	伸率
売上高	103,359	100.0%	125,000	100.0%	21,640	20.9 %
営業利益又は 営業損失(△)	△ 966	△ 0.9%	2,900	2.3%	3,866	—
経常利益又は 経常損失(△)	△ 749	△ 0.7%	3,000	2.4%	3,749	—
親会社株主に帰属する四半期 純利益又は親会社株主に帰属 する四半期純損失(△)	△ 3,602	△ 3.5%	2,000	1.6%	5,602	—
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失(△)	△ 188.35円		104.54円		—	—
1株当たり配当金	10.00円		15.00円		—	—
US \$ 換算レ - ト	132.09円		142.00円		9.91	—

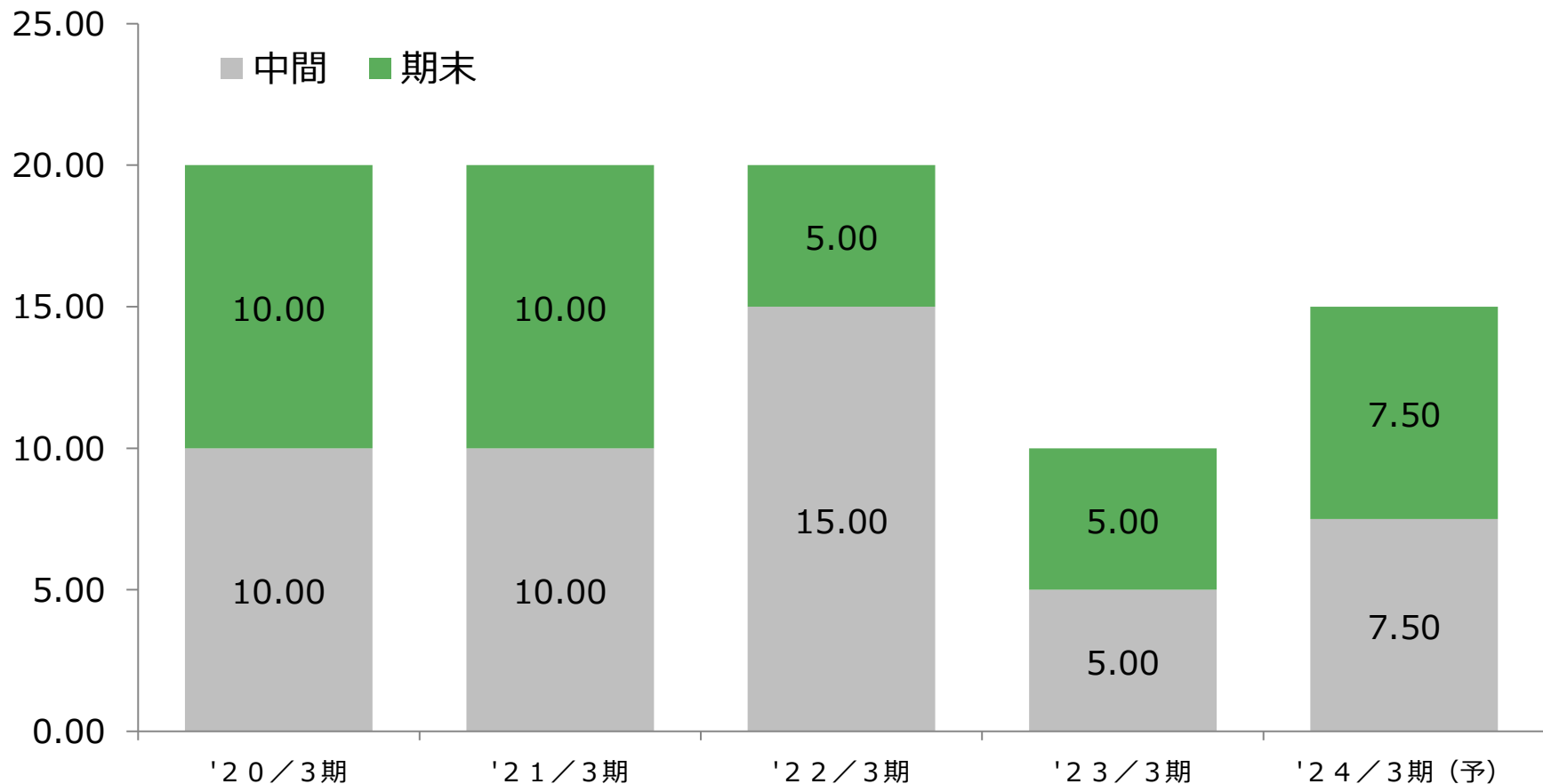
2023年11月1日公表の連結業績予想値からの修正なし

## (2) 配当金



(単位：円)

### <配当金推移>



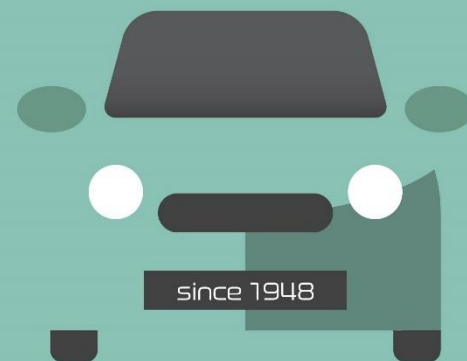
2023年11月1日公表の配当予想からの修正なし

質問	回答
第3四半期に計上された特別利益について詳しく教えてほしい。	2023年3月期までに既に計上済である製品保証引当金に関し、当初、緊急性を伴うコストを見込んでいたものの、一部環境の変化により引当が不要となったため、第3四半期で製品保証引当金戻入額を特別利益に計上。
日本で計上した貸倒引当金繰入額について詳しく教えてほしい。	当社の自転車用エアバッグの販売先であるスウェーデンのHovding社が倒産したことに伴い、同社に対する債権について取立不能のおそれが生じたため計上。
中国は第2四半期までの赤字から第3四半期では黒字となっているが、その要因は？	親会社に支払うコミッションが減少したことが主な要因。第3四半期では黒字となるものの、中国の事業環境は厳しさを増しており、引き続き人員や経費削減等の対策を講じていく。
北米は第2四半期に一過性の要因（価格転嫁の遡及支払い）があったが、第3四半期はどうか。	第3四半期には一過性の要因（価格転嫁の遡及支払い）はない。
北米の見通しについて、下期が保守的すぎるのではないか。（下期の利益が少なくみえる要因は？）	北米の下期利益が少なくみえる主な要因は、下期の稼働日が上期と比べ少ないこと、原材料価格等の下落に連動し、時期ズレで販売価格が下がること。
来期（2024年度）についてのコメントがほしい。	この要望をよくいただくが、来期の見通しについては策定中であり、現時点でコメントできることはない。ご理解いただきたい。

I. 2024年3月期第3四半期 決算報告

II. 2024年3月期 通期見通し

III. トピックス



# トピックス\_受賞実績

詳細、最新の情報は、  
当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.n-plast.co.jp/>



## 中山富拉司特工業有限公司（中国拠点）

東風日産より

### 優秀サプライヤー賞(QCDDS総合)(5回目) 20周年ベストパートナーシップ賞

取引先の内、Quality（品質）、Cost（価格）、Delivery（納期）、Development（開発）、Service（サービス）全ての項目においてトップレベルである18社として優秀サプライヤー賞を受賞。  
東風日産 創立20周年を記念し、創立以来長きに渡り貢献した企業20社として、20周年ベストパートナーシップ賞を受賞。



## 日本プラスト株式会社

日興アイ・アール

### 2023年度 全上場 企業ホームページ充実度ランキング スタンダード市場部門 優秀サイト に選定(2年連続)

2022年8月に 全面リニューアル！  
当社の最新情報をより充実した  
内容で掲載



## Nihon Plast Vietnam Co., Ltd.（ベトナム拠点）

ビンフック省より

### ビンフック省に貢献した企業として表彰

日越外交関係樹立50周年  
記念イベントにて、ビンフック省  
の経済発展に貢献したとして、  
同省内の日系企業60社のう  
ち、トップ25社に選出。





# トピックス\_受賞実績

詳細、最新の情報は、  
当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.n-plast.co.jp/>

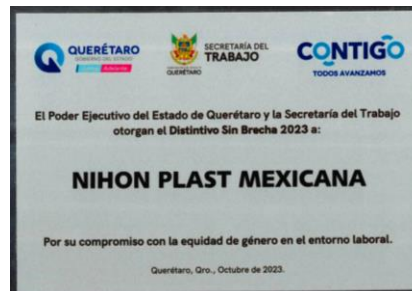


Nihon Plast Mexicana, S.A. de C.V. (メキシコ拠点) / Nihon Magnesio, S.A. de C.V. (メキシコ拠点)

ケレタロ州より

## 「格差のない職場環境が整った企業」として表彰(2年連続)

メキシコ2拠点の女性管理職の登用、臨床心理士による  
カウンセリング制度、妊娠・出産・産後の支援の取り組み、  
障がい者施設との連携など、ジェンダー平等や女性の  
エンパワーメントなどを促進する取り組みが高く評価。



## 日本プラスト株式会社

日本ガス機器検査協会より

## 環境マネジメントシステム特別賞

2000年12月25日にISO14001認証  
を取得してから20年以上永きにわたり  
環境マネジメントシステム認証の維持・  
向上に努めたことが高く評価。



## 日本プラスト株式会社

静岡県より

## ふじのくに福産品等 SDGsパートナーに認定

ふじのくに福産品※の購入や業務の発注  
に積極的に取り組む企業・団体として認  
定。

※ふじのくに福産品とは、障害のある人が働く障害  
福祉サービス事業所等で作られた製品（授産品）  
の愛称





## 持続可能な社会に貢献すべく、活動を実施しました

- ・生物多様性保全活動「外来植物撲滅大作戦Ⅱ」参加
- ・当社オンラインショップ「plus to」N'sマルシェ出店



▲N'sマルシェのようす



▲田子の浦海岸清掃活動のようす



▲クリスマスチャリティーイベントのようす



2023年10月

11月



▲クリスマスイベントのようす

12月



にほんぷらすと



日本プラストは  
SDGs活動に  
取り組んでいます



富士山SDGs  
推進パートナー

- ・メキシコ拠点 太陽光発電設置
- ・富士宮市 環境フェア出展
- ・富士宮市 健康マイレージ事業に景品提供
- ・アメリカ拠点 ピンクリボンキャンペーン実施
- ・清掃活動「富士山ごみ減量大作戦」参加
- ・廃エアバッグを活用した樹皮保護ネット設置イベント実施



▲メキシコ拠点太陽光発電



▲健康マイレージ事業に  
提供したplus to商品



▲環境フェアのようす



▲ピンクリボンキャンペーンのようす



▲富士山ごみ減量大作戦のようす



▲樹皮保護ネット設置イベントのようす



## オンラインショップ「plus to」 新商品販売開始！

「plus to」では、「思いやりを暮らしにplus」をコンセプトに、自動車部品を製造する過程で排出された廃材をアップサイクルした商品を販売しています。オンラインショップはこちらから <https://plusto.base.shop/>



plus to



オンラインショップ



PLUSTO\_NIHONPLAST

インスタグラム

〈新商品のご紹介〉



**ブラックエアリーポーチFL**  
自動車内装部品用合皮の  
廃材をアップサイクルした商品



**マルチポケットトート  
(エアバッグ生地)**  
エアバッグ生地の廃材を  
アップサイクルした商品



**2wayモノトーンスクエアトート  
(エアバッグ生地)**  
エアバッグ生地の廃材を  
アップサイクルした商品

本商品の生産は社外の就労継続支援事業所にて行っています。

当社は今後も、地域社会とのパートナーシップや障がいの有無に関わらず活躍できる社会づくりへの寄与、廃材削減等も踏まえて事業活動を進めていきます。





## メキシコ拠点 新商品開発中！

メキシコ メキシコ州テマスカルシngo市、ケレタロ州ハルパン市と連携し、  
廃材実質ゼロ化、地域の経済や文化活動などを活性化することを目的に、  
自動車部品を製造する過程で排出された革、合皮、縫製用の糸などの  
廃材をアップサイクルし、民芸品などを作る活動を進めています。  
オンラインショップ「plus to」での販売を目指し、新商品開発中です！

私たちが心を込めて作っています！



2023年9月 当社社長 テマスカルシngo市庁舎訪問のようす  
SDGs達成に向け意見を交わし、連携を継続することで合意



ハルパン市議会メンバー、民芸品を手掛ける女性たち、  
当社メキシコ拠点SDGsメンバーとの会談のようす



# ご視聴ありがとうございました。

◆決算説明に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

お問い合わせフォーム：<https://forms.gle/BFL7cHMDZYBBExR87>  
(受付期限：2024年3月17日)



◆今後の運営の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご協力ください。

※アンケートにご回答いただいた方、

**先着50名に粗品をプレゼント**いたします。

アンケート入力画面：<https://forms.gle/jCmS3ac5gm6sRnFK6>  
(回答期限：2024年3月17日)



◆本資料に記載の将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績は、様々な要因の変化により、記載されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。